

2025年2月期 第1四半期決算説明資料

2024年7月12日

株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス（証券コード：2884）

- | 1 2025年2月期 1Q決算ハイライト
- | 2 トピックス
- | 3 2025年2月期 1Q決算詳細
- | 4 Appendix

(注) 2025年2月期第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年2月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2025年2月期 1Q決算ハイライト



売上高は前年同期比1.3倍、営業利益は2.4倍に増加
売上高、営業利益、EBITDA共に1Qとして過去最高を更新

売上高

146億円

前年同期比

x1.3

営業利益

11億円

前年同期比

x2.4

EBITDA

17億円

前年同期比

x1.9

既存企業のオーガニックな成長に加え、 ワイエスフーズグループ[※]の損益を取り込んだことで大幅な増収増益

※株式会社ワイエスフーズ、株式会社マタツ水産、有限会社オガネサン清藤水産、株式会社ワイエス海商

	2024年2月期 1Q		2025年2月期 1Q		前年 同期比	2025年2月期 業績見込	
		構成比		構成比		(通期)	進捗率
売上高	11,581	100.0%	14,614	100.0%	+ 26.2%	58,215	25.1%
売上総利益	2,413	20.8%	3,495	23.9%	+ 44.8%	-	-
営業利益	503	4.3%	1,197	8.2%	+ 137.9%	2,744	43.7%
EBITDA	953	8.2%	1,771	12.1%	+ 85.8%	4,889	36.2%

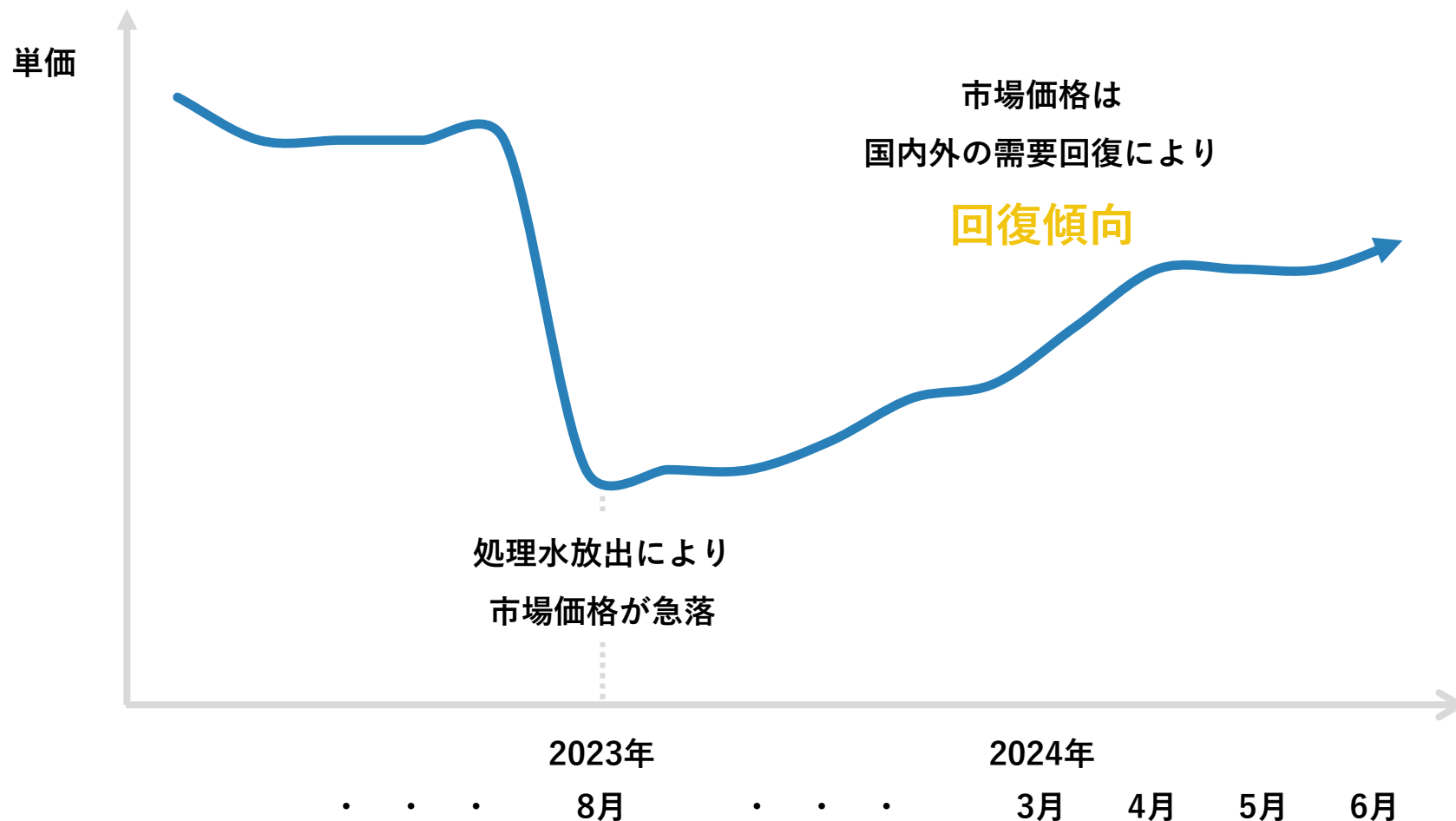
- 売上高は前年同期比+26.2%、営業利益は+137.9%と大幅な増収増益を達成
ワイエスフーズグループの損益取り込みが最大の要因で、既存企業のオーガニックな成長も貢献
- 営業利益は、当期業績見通しに対する進捗が43.7%となるも、今後のホタテの市況等を見ながら慎重に判断

トピックス



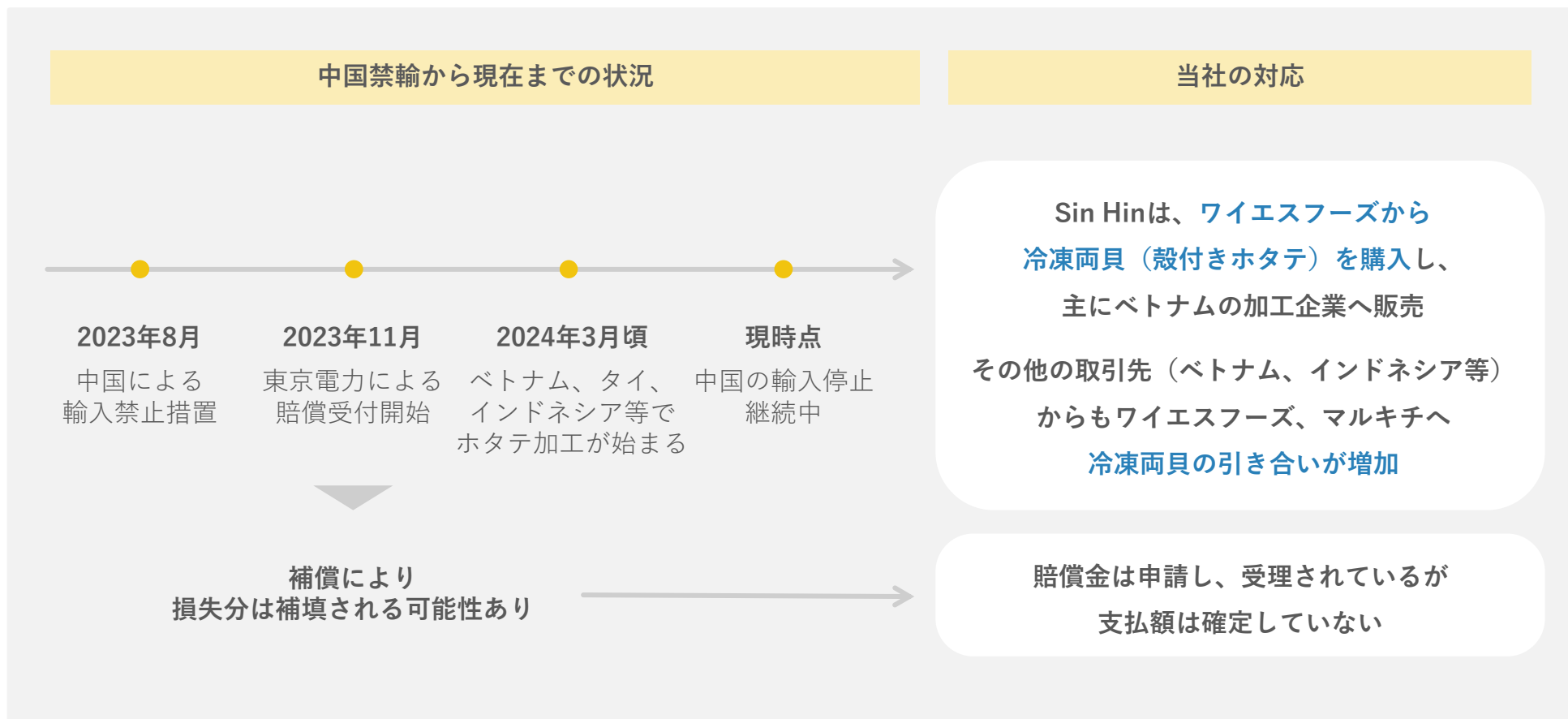
ホタテの市場価格は、国内外の需要回復により回復傾向
オホーツク海の最漁期は6月～9月であり、今後の価格動向を注視していく

ホタテ貝柱の販売単価推移（当社販売価格を基準とした推定市場価格）



東京電力への賠償金請求については、引き続き対応を継続

对中国輸出に対する当社の対応



2025年2月期 1Q決算詳細



売上高、各段階利益共に前年同期比で大幅に増加

	2024年2月期 1Q		2025年2月期 1Q		前年 同期比	2025年2月期 業績見込	
		構成比		構成比		(通期)	進捗率
売上高	11,581	100.0%	14,614	100.0%	+ 26.2%	58,215	25.1%
売上総利益	2,413	20.8%	3,495	23.9%	+ 44.8%	-	-
販管費	1,910	16.5%	2,298	15.7%	+ 20.3%	-	-
営業利益	503	4.3%	1,197	8.2%	+ 137.9%	2,744	43.7%
経常利益	612	5.3%	1,335	9.1%	+ 118.1%	2,671	50.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	393	3.4%	619	4.2%	+ 57.2%	1,113	55.6%
EBITDA	953	8.2%	1,771	12.1%	+ 85.8%	4,889	36.2%

(注) EBITDA = 営業利益 + 償却費 (減価償却、のれん) + コロナ関連補助金収入 + M&A取得関連費用

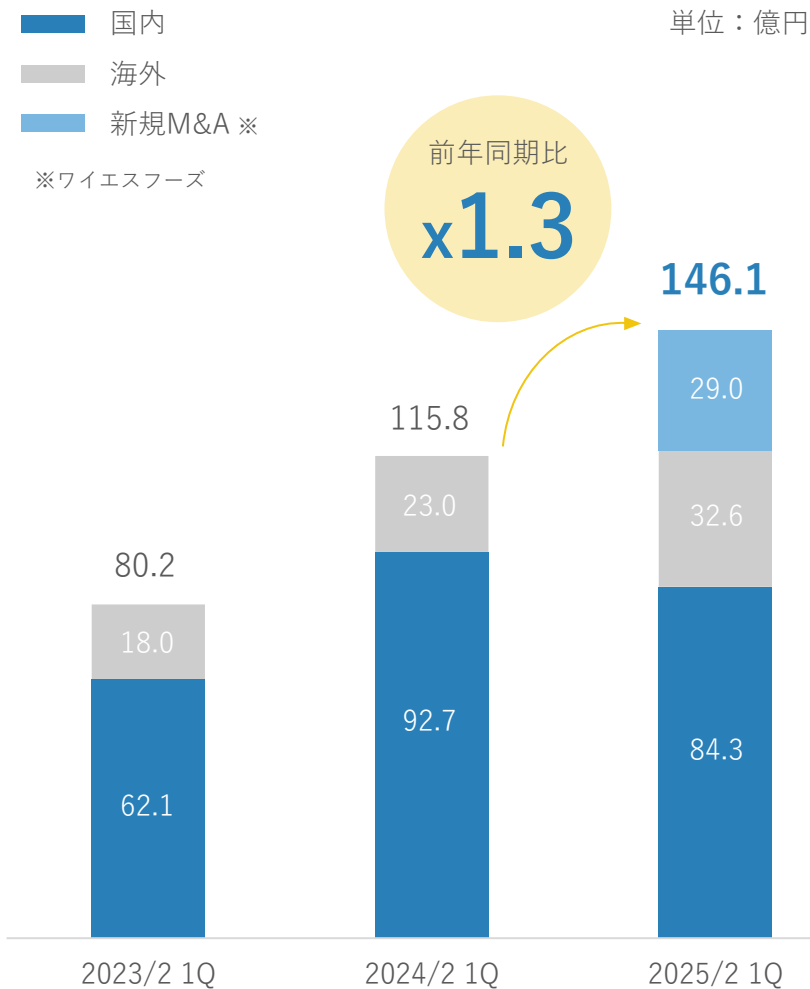
ワイエスフーズグループの取り込み、シンガポール子会社においてホタテ販売が好調に推移したことで増収

売上高

前年同期比

146.1 億円 +26.2 %

- 国内事業は、ワイエスフーズグループ（2024/2期4Q～連結）が寄与したことで増収。消費者の低価格志向が進んだことで、楽陽食品の売上が増加。処理水放出の影響や販売時期のずれにより、マルキチの売上は減少。
- 海外事業は、シンガポール、マレーシアにおける観光需要の回復、およびマルキチ、ワイエスフーズのホタテの拡販が奏功したことで増加。



ワイエスフーズグループの損益取り込みにより大幅に増益

営業利益

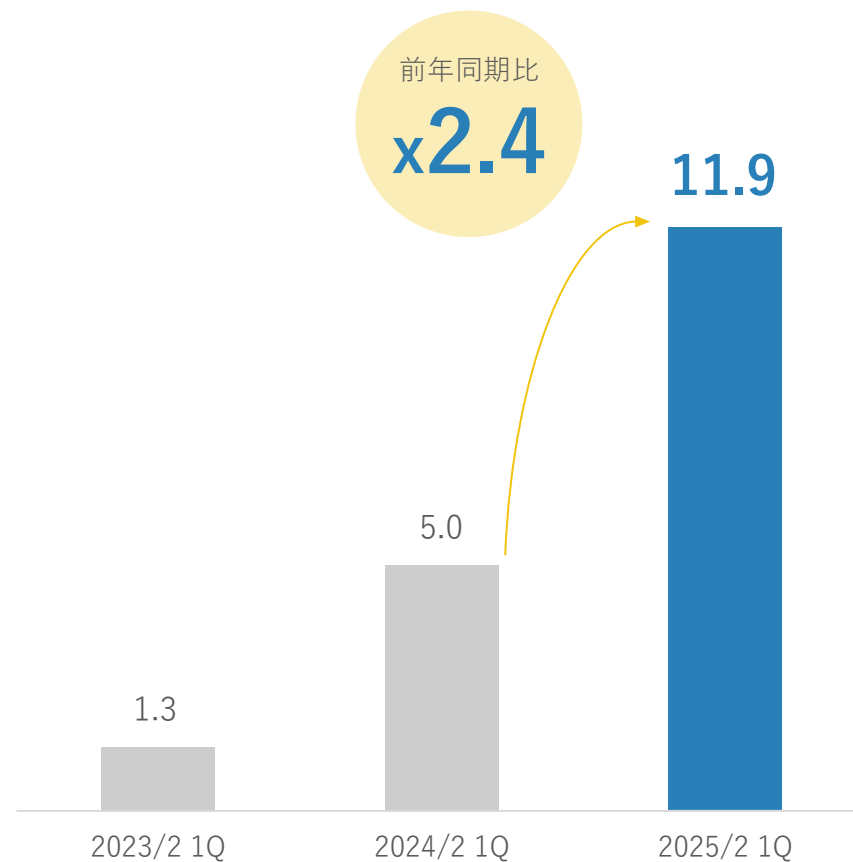
前年同期比

11.9 億円

+137.9 %

単位：億円

- 国内事業は、ワイエスフーズグループ（2024/2期4Q～連結）が寄与したことで増益。
- 海外事業は、シンガポール、マレーシアにおける観光需要の回復、およびマルキチ、ワイエスフーズのホタテの拡販が奏功したことで増加。



経常利益、EBITDAは営業利益の増加に伴い増加

経常利益

前年同期比

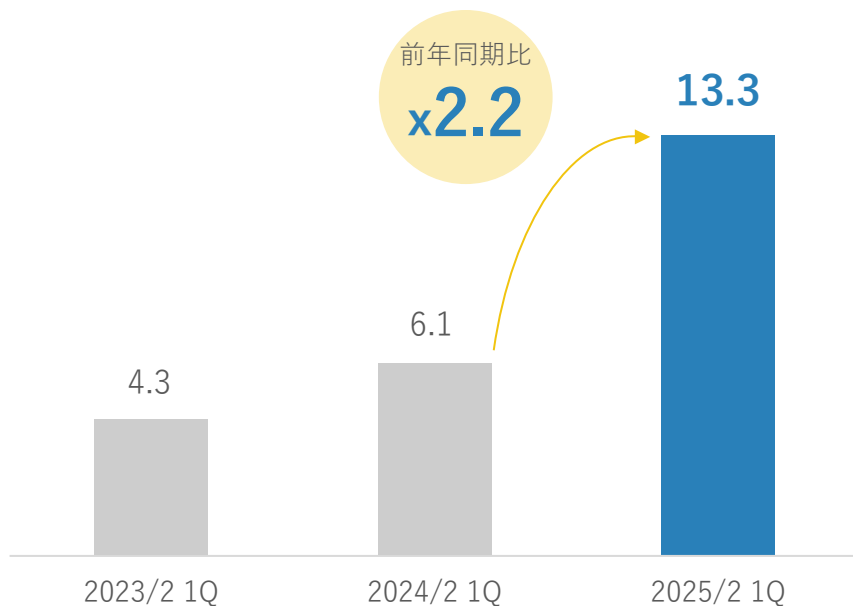
13.3 億円 **+118.1** %

EBITDA

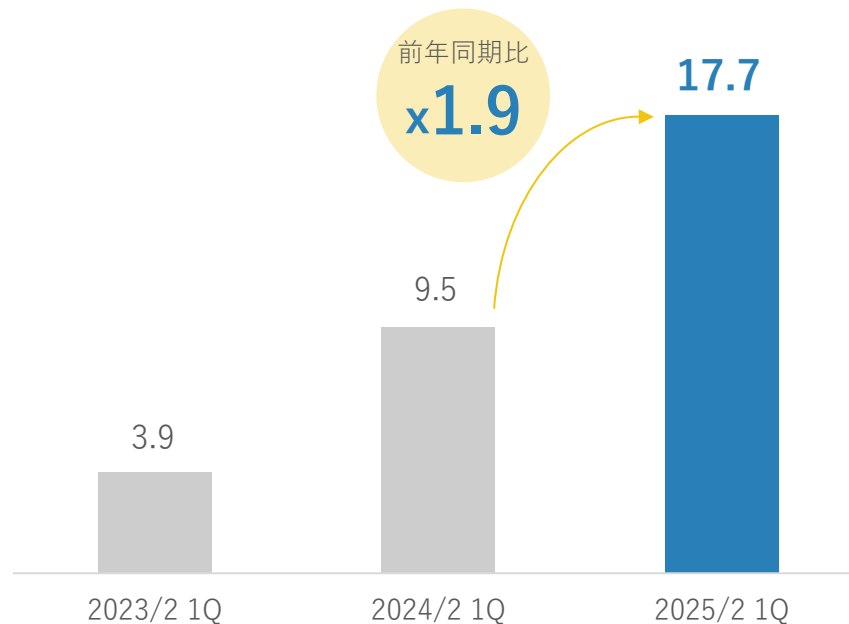
前年同期比

17.7 億円 **+85.8** %

単位：億円



単位：億円



自己資本比率は17.6%（前期末比+1.0%）となる。

(単位：百万円)	2024年2月期末 時点	2025年2月期 1Q 時点	前期末比	備考
流動資産	28,337	30,469	+ 2,132	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現預金の増加
現金及び預金	10,225	11,454	+1,228	シンガポールおよびマレーシアで旧正月に売上が増加し、在庫が減少、売掛金の回収が進んだことで増加
受取手形及び売掛金	7,131	7,500	+369	
棚卸資産	10,193	10,537	+344	■ 棚卸資産の増加
固定資産	24,017	23,806	▲211	噴火湾のホタテの漁獲シーズンが始まり、ワイエスフーズグループの棚卸資産が増加
有形固定資産	10,842	11,051	+208	■ 有形固定資産の増加
のれん	9,177	9,085	▲91	
総資産	52,355	54,276	+ 1,920	細川食品、ダイショウにおいて固定資産を取得したことにより増加
流動負債	24,988	25,662	+ 673	
借入金及び社債	18,486	18,508	+21	
固定負債	14,699	14,819	+ 119	
長期借入金及び社債	13,126	13,146	+20	■ 自己資本の増加
純資産	12,666	13,794	+ 1,128	利益計上により自己資本が増加し、自己資本比率は17.6%（前期末比+1.0%）
自己資本	8,705	9,549	+843	

売上高の状況（セグメント別）

製造事業セグメント、販売事業セグメント共に増収

(単位：百万円)	2024年2月期 1Q	2025年2月期 1Q	前年同期比	備考
製造事業セグメント	9,125	11,933	+ 30.8%	
ワイエスフーズ ※マタツ水産、清藤水産を含む	-	2,863	-	■ ワイエスフーズは前期4Qより連結開始
楽陽食品	1,226	1,407	+14.7%	■ 楽陽食品は消費者の低価格志向、新商品販売により増収
NKR	782	1,038	+32.6%	■ NKRはマレーシアにおける大型案件受注で増収
Pacific Sorby	887	1,029	+15.9%	■ Pacific Sorbyは観光需要の回復により増収
マルキチ	1,445	988	▲31.6%	■ マルキチは処理水放出の影響や販売時期のずれにより減収
オープン	688	654	▲4.9%	
その他（17社）	4,094	3,951	▲3.5%	
販売事業セグメント	2,376	2,576	+ 8.4%	
ヨシムラ・フード	1,424	1,480	+4.0%	
Sin Hin	597	751	+25.8%	■ Sin Hinはホタテの販売が好調に推移し増収
その他（2社）	354	344	▲2.7%	
その他事業セグメント	79	103	+ 30.6%	
合計	11,581	14,614	+ 26.2%	

(注) 2024年2月期までの決算説明資料では、個社別の売上高には、セグメント間の取引および内部取引を含めておりましたが、本説明資料から内部取引調整後の売上高を記載しております。

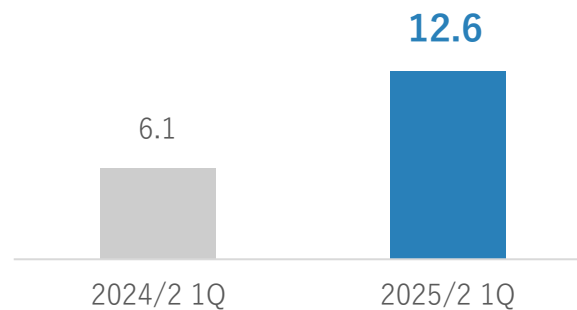
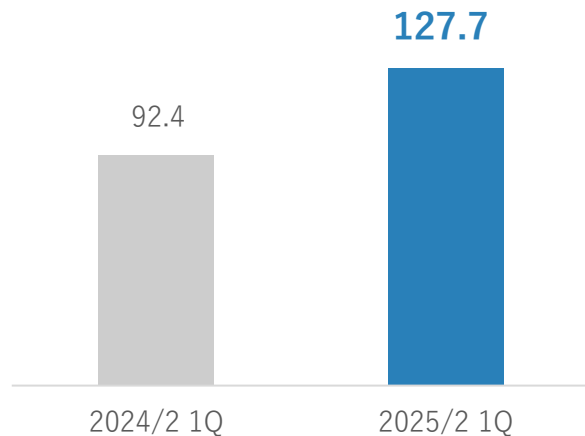
国内・海外別実績

(単位：億円)

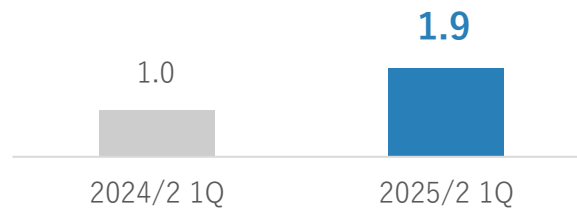
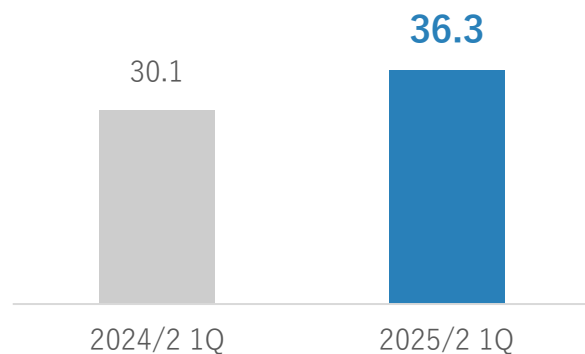
売上高

営業利益

国内



海外



(注) 売上高は、セグメント間の取引が含まれています。

(注) 営業利益は、のれん償却額等を含めていません。

Appendix



MISSION

いつまでも、この“おいしい”を楽しめる社会へ

～消費者が多様な食文化を享受できる豊かさの実現～

- 私たちは、人々が、多種多様な選択肢から自分の嗜好に合わせて自由に選択でき、それが尊重される社会こそ、豊かで幸せであると考えます。
- 私たちは、世界中の消費者が、多種多様で高品質な“おいしい”を自由に選択し、それを楽しめる豊かな社会を目指してまいります。

VISION

地域の“おいしい”を守り、育て、世界へ

- 私たちは、「いつまでもこの“おいしい”を楽しめる社会」を実現するため、日本および世界で大切にされてきた“おいしい”を見つけ、守り、育て、世界へと届けてまいります。
- そのために、私たち独自の“おいしい”を見つける目利き力、“おいしい”を守る事業基盤、“おいしい”を育てる支援機能、“おいしい”を世界へと届ける販売網を構築してまいります。
- その結果として、世界の食文化と多様化、地域社会の活性化を推進するグローバルプロデューサーとなります。

VALUES

「あなた“らしさ”を大切にします」

- 私たちは、私たちに関わる全ての方のあなた“らしさ”を大切にします。
- 私たちは、私たちのグループで働く社員の“個性”、“新しい発想”、“チャレンジ精神”を大切にします。
- 私たちは、私たちのグループ企業が持つ“歴史”、“文化”、“社員”、“取引先”、“地域社会”を大切にします。
- 私たちは、私たちのグループ企業が持つ“強み”を伸ばし、“弱み”を補い合い、共に成長してまいります。
- 私たちは、私たちに関わる全ての方の“らしさ”を大切にした結果、多様な選択肢のある豊かな社会づくりに貢献します。

会社概要

- 社 名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス
- 設 立 2008年3月18日
- 代 表 者 代表取締役CEO 吉村 元久
- 本 社 東京都千代田区内幸町2-2-2
富国生命ビル18階
- 資 本 金 1,125百万円（2024年2月末現在）
- 主 要 株 主 吉村元久 37%（株式会社MY保有分含む）
国分グループ本社(株) 5.0% 他
- 連 結 業 績 売上高：49,781百万円
経常利益：3,052百万円（ともに、2024年2月期）
- 従 業 員 数 連結：1,792人
単 体： 27人（ともに、2024年2月末現在）
- 事 業 内 容 食品関連会社の株式を保有する持ち株会社。
子会社において各種食品の製造・販売。
- グ ル ー プ 主要連結子会社：28社
- 市 場 東証プライム（2884）

代表取締役CEO

吉村 元久 Motohisa Yoshimura

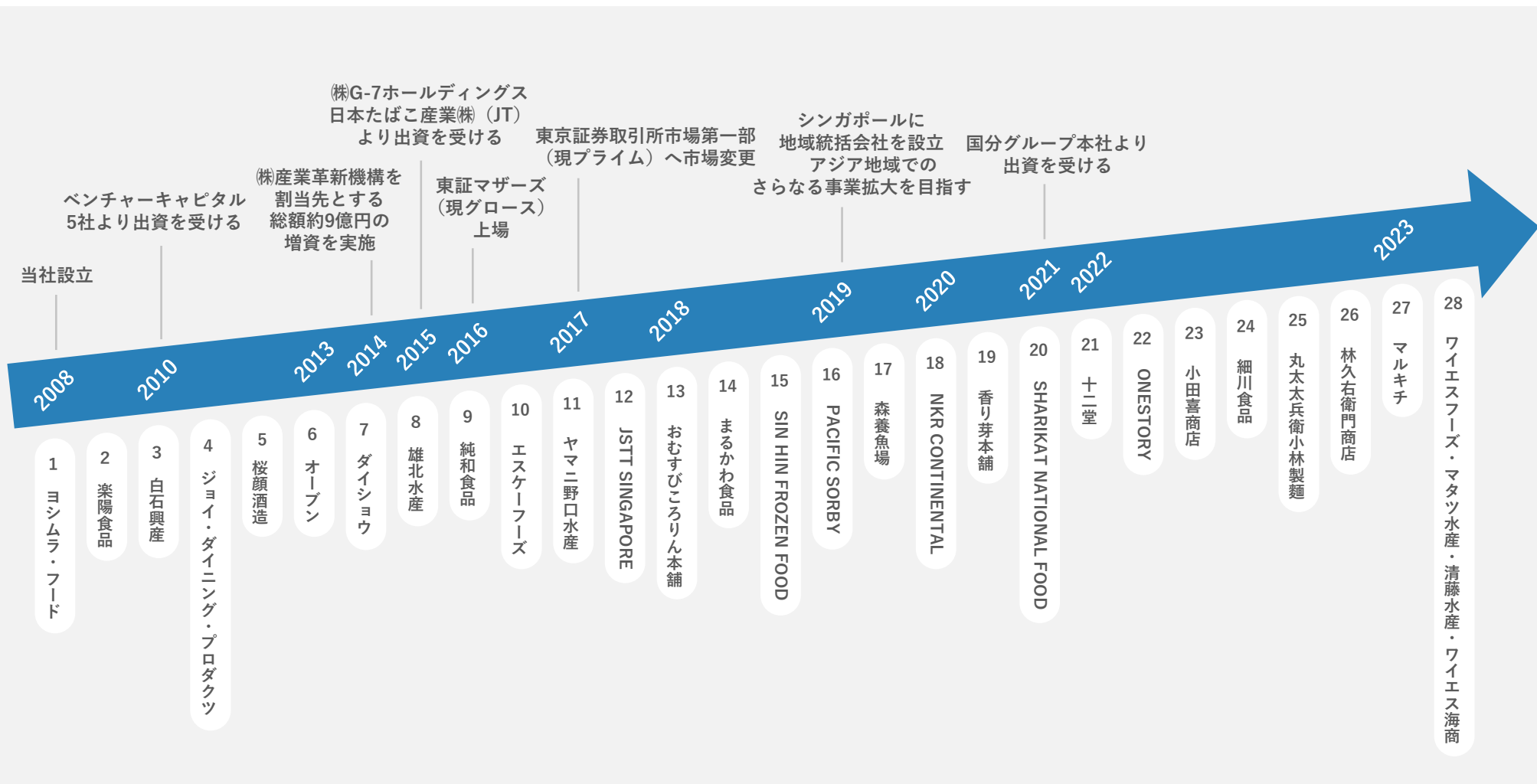


出身地 北海道函館市

最終学歴 1988年3月 一橋大学商学部卒業
1994年6月 ペンシルバニア大学大学院
ウォートン校卒業（MBA）

職 歴 1988年4月 大和証券株式会社入社
事業法人部 上場企業の資金調達業務
1996年7月 同社 資産証券部 課長代理
資産の証券化業務
1997年10月 モルガン・スタンレー証券株式会社入社
事業法人部 エグゼクティブディレクター
コーポレートファイナンス業務
2008年3月 当社 代表取締役（現任）

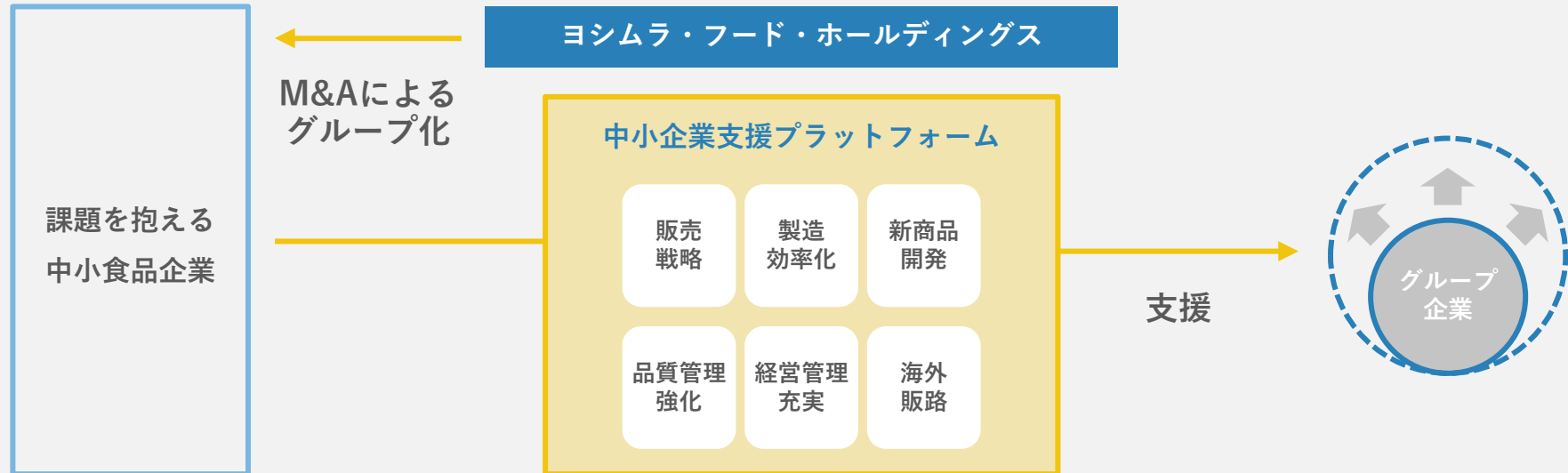
中小食品企業のM&Aと 当社ビジネスモデルへの共感企業からの出資の歴史



食品業界におけるユニークなビジネスモデルにより、
当社は**2つの成長エンジン**を有する

1. グループ企業の拡大による成長

2. 既存事業の業容拡大による成長



グループ会社を機能別に統括することで、相互補完・相互成長を図る仕組み

ヨシムラ・フード・ホールディングス

HD統括

【中小企業支援プラットフォーム】

セールス・マーケティング

商品開発

生産管理

購買・物流

品質管理

経営管理

海外販路

販売戦略

商品戦略・新商品

効率化

コストダウン

安心安全

経営効率化

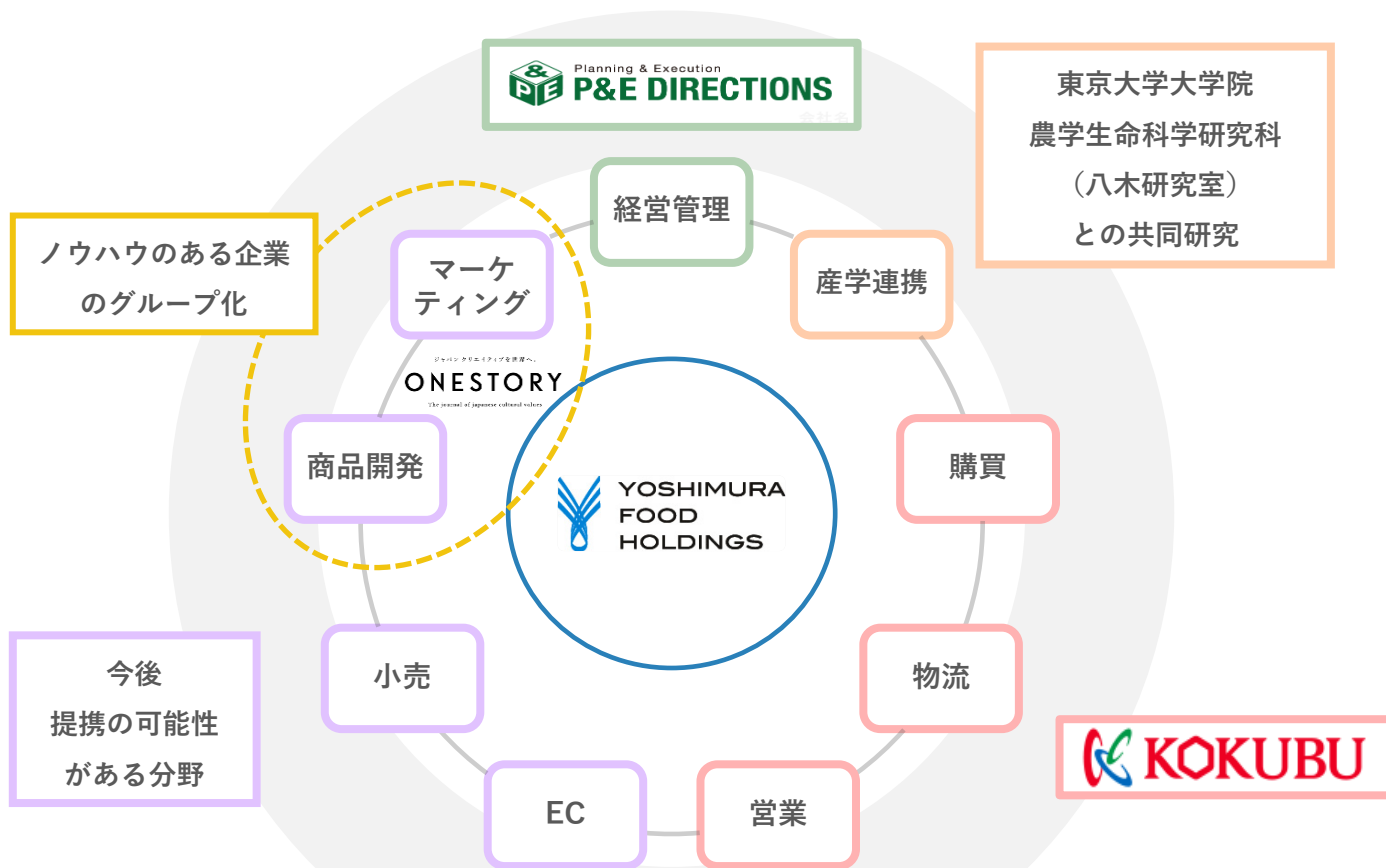
販路拡大・売上増加

傘下のグループ企業

グループ会社の 有機的な相互補完関係

- 会社の壁を越えて
機能ごとに横断的組織を構築
- 各機能別の統括責任者が
グループを横断的に統括
- 各社の持つ強みを
グループ全体で共有し
弱みを補い合う

バリューチェーンごとに最適なパートナーとの提携やM&Aを行うことで、より一層の成長を目指す



提携先と一体となり中長期的な成長を実現

後継者不在企業を譲り受け、グループ化して活性化する当社の事業は
正に**ESG経営そのもの**であり、**ESG経営をより強化することで持続的な成長を実現**



楽陽食品



シウマイ・餃子

- 国内5か所に工場
- チルドシウマイの生産量は国内トップシェア

白石興産



乾 麺

- 創業130年
- 宮城県白石市特産の白石温麺が主力商品

桜顔酒造



日本酒

- 昭和48年岩手県の地場の酒蔵10社で設立
- 県内出荷量2位

オープン



冷凍かきフライ

- 広島産カキを調達する独自ルートを保有
- 鶏なんこつ唐揚等も製造

ダイショウ



ピーナッツバター

- ピーナッツバターのパイオニアで、主力商品は30年以上続くロングセラー

雄北水産



まぐろ加工品

- 船凍品のまぐろのみを使用した、ねぎとろ、まぐろ切り落としを製造販売

純和食品



ゼリー

- 高い技術力と彩の国HACCPに認定された高い品質管理能力

エスケーフーズ



とんかつ

- 「彩の国優良ブランド品」に認証された「むさし野とんかつ」が主力商品

ヤマニ野口水産



水産加工品

- 鮭とばやいくら醤油漬け等北海道の新鮮な原料を使用した水産品を製造

JSTT SINGAPORE



寿司

- シンガポールの工場にて寿司等を製造し、シンガポールの大手スーパーへ販売

おむすびころりん本舗



フリーズドライ

- フリーズドライ加工、フリーズドライ製品の製造、非常食の販売

NKR CONTINENTAL



業務用厨房機器販売

- 主にシンガポール及びマレーシアの高級ホテル等へ、業務用厨房機器を設計・製造・施工・販売

香り芽本舗



ふりかけ・スープ

- ソフトタイプのわかめふりかけ、わかめスープ等の自社商品からOEMまで、高品質かつ多様な商品を製造

森養魚場



鮎 (アユ)

- 岐阜県内3ヵ所において、高品質な鮎を養殖、販売
- 高度な養殖技術を有し、子持ち鮎の安定生産が可能

まるかわ食品



ぎょうざ

- 静岡において、秘伝のレシビよるぎょうざを製造
- 自社店舗には行列が絶えない人気店

グループ会社の概要

PACIFIC SORBY



水産加工品

- シンガポールの主要なホテルに対し、自社加工した冷凍ロブスター、カニなどを販売

細川食品



かき揚げ

- かき揚げ、チヂミ、赤飯等の冷凍食品製造
- 野菜加工、野菜原体の販売

マルキチ



ホタテ

- オホーツク海で獲れた、大粒で肉厚なホタテの加工販売（主に輸出向け）
- サケやカニ等も取り扱う

ヨシムラ・フード



業務用惣菜

- 業務用食材の企画・販売が主、自社で物流を持たず、販売先へ直送するビジネスモデルを構築

ONESTORY



マーケティング ・コンテンツ開発等

- 地域に眠る「食」や「文化」等を再発掘・再編集し、プレミアムなコンテンツとしてプロデュース

十二堂



ふりかけ

- ソフトふりかけ「梅の実ひじき」等を製造、販売
- 全国に多くのファンを持ち根強い人気を誇る

丸太太兵衛小林製麺



生麺（ラーメン）

- 生麺、餃子の皮、たれ等調味料の製造・販売
- 得意先は北海道内外のラーメン店

ワイエスフーズグループ



ホタテ

- 噴火湾沿岸で漁獲されたホタテの加工販売
- サケ・いくらやイカ等も取り扱う

ジョイ・ダイニング・プロダクツ



宅配等

- 冷凍食品の企画・販売
- 全国の生活協同組合と直接窓口を保有

SHARIKAT NATIONAL FOOD



不動産賃貸・管理

- シンガポールにおいて食品工場兼食品用低温倉庫を所有し不動産賃貸業を行う

小田喜商店



栗加工品

- 厳選した良質な地元産の「いわまの栗」を使用した高品質な栗製品を製造・販売

林久右衛門商店



だし

- 明治18年創業経節専門店
- 上質な厳選素材にこだわった削り節、だしの製造加工・販売

SIN HIN FROZEN FOOD



水産品卸

- シンガポールの水産品卸
- 主力商品は、エビ、ホタテ、カニ等

本資料の取り扱いについて

- 本資料に記載されている市場環境等の情報に関する記述は、当社が独自で調査を行ったものであり、必ずしもその内容の正確性及び完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来情報に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく不確実性を含んでおります。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査法人による監査を受けていない管理資料が含まれております。

